

## 研修会参加報告書

会派名：財政健全課

### 1. 研修の概要

- (1) 目的 2024年度予算について
- (2) 日時 2024.1.27(土)18:30~21:00 1.28(日)9:00~15:00
- (3) 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (4) 参加者 杉浦 功記



### 2. 研修内容

2023年度第3回全国自治体議員行財政自主研究会

テーマ：令和6年度(2024年度)予算

講師：菅原敏夫氏（地方自治研究所研究員）

◇菅原氏からレジュメに沿った講義

- ・誰も経験したことのない予算編成。インフレ下での予算編成は誰もやったことがない。
- ・予算を語る前にまずは決算を振り返ると、過去最高の好決算。(借金は減り、税収は増え、弾力性は増す)→予算も過去最大となるのは当然の流れ。
- ・国の予算についての考え方は、骨太方針2023に沿って編成するが、歳出の中身をより効果的にするためにワイズスペンディング(賢い財政支出)の徹底を求める。
- ・自治体予算で特徴的なものは4点で①所得税、個人住民税の定額減税に伴う減収への対応、②こども、子育て政策の強化に係る地方財源の確保、③給与改定、会計年度任用職員への勤勉手当支給に要する地方財源の確保、④物価高への対応、とのこと。

◇参加者である各自治体の議員が、予算編成状況等を短く発表

- ・西尾市の予算編成方針、財源不足で予算が組めないという話が昨年11月頃から出回ったこと、ふるさと納税返礼品事業者による不正、児童クラブ民間一括委託のこと等を報告。
- ・鹿沼市(栃木県)では決算後に、議会ですまじり次の予算に対す提言しているとのことで、とても良い取組みだと感じた。

### 3. 所感

菅原氏による予算や決算の勉強会に参加して3年、その度に資料等には過去最大、最高という言葉が躍る。ただ、数字的な事実とは別に、同じく西尾市から参加の鈴木規子議員とは、「全然実感が湧かない」ということで意見が合った。過去最大規模であろうと、正しくお金が使われなければ意味がない。ワイズスペンディングかどうか、その点を特に意識して2024年度予算審査に臨みたい。

項目	支出金額	備考
研修費	6,000円	参加費
研修費	29,000円	旅費等
合計	35,000円	